

環境経営レポート

2024年版

(活動期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

発行：2025年5月14日

改訂：2023年7月26日

株式会社 香取

承認	作成
代表	環境管理 責任者
香取 光	才藤順之
2025. 5. 14	2025. 5. 14

1. 会社概要

(1) 会社名

株式会社 香取

(2) 代表者

代表取締役社長 香取 覺

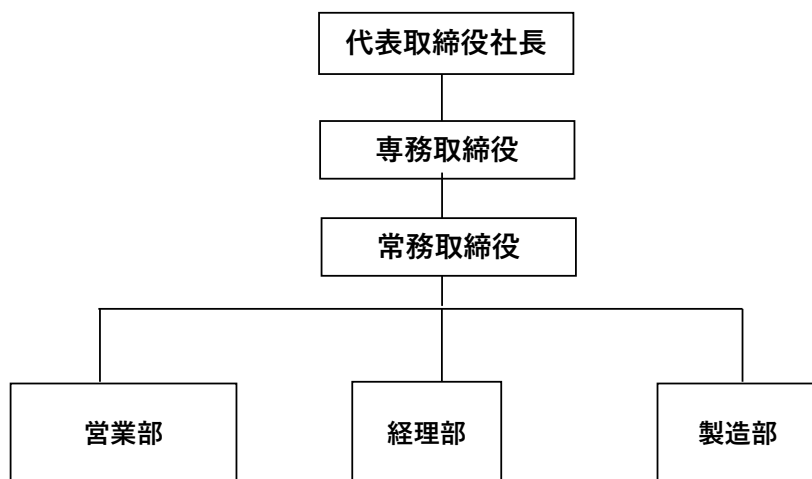
(3) 役員

専務取締役 香取 一子

常務取締役 香取 光

取締役 香取 真也

(4) 組織図



(4) 創立

1975年

(6) 資本金

4,800万円

(7) 所在地

〒263-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷6丁目24番19号

電話 043-273-1688(代)

FAX 043-275-0551

Eメール kato@katori-1975.jp

(8) 会社履歴

1976年6月28日	資本金300万円で 香取建設資材 有限会社 設立 代表取締役社長 香取 覺 就任
1982年6月1日	香取建材株式会社に商号変更 資本金1200万円に増資
1989年9月1日	株式会社 香取 に商号変更 現在に至る 資本金4800万円に増資

(9) 事業内容

①建設建材製造・販売 生コンクリートの製造・販売、建設建材販売

(10) 事業規模

①売上高	202,200万円	(2023年10月1日～2024年9月30日)
②従業員数	30名	(2023年4月1日現在)
④事務所等		
・ 事務所（本社）	80.19m ²	
・ 従業員休憩室	26.73m ²	
・ 資材置き場・駐車場	125.0m ²	

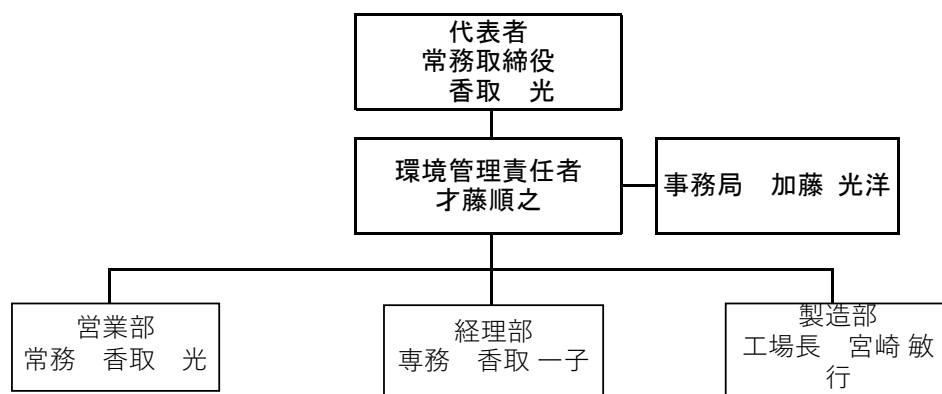
(11) 保有車両・重機

コンクリートミキサー車	20台
重機	6台
営業車	2台

(12) 保有資格

① 一級土木施工管理技士	1名
② 解体工事施工技士	1名
③ 車輛系建設機械運転技能修了者	3名
④ 木造建築物解体工事作業指揮者	1名
⑤ コンクリート造の工作物の解体等作業主任者	2名
⑥ 建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者	1名
⑦ 足場の組立て等作業主任者	1名
⑧ 特定化学物質等作業主任者	1名
⑨ 石綿取扱作業従事者特別教育修了者	1名
⑩ 職長安全衛生責任者	1名
⑪ コンクリート技士	4名

(13) 環境経営システム組織



	役割 ・ 責任 ・ 権限
代表者 (代表取締役社長)	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 経営における課題とチャンスの整理と明確化 ・ 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境経営目標・活動経営計画書、環境法規制等一覧表、環境経営レポート等の各種文書記録の承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境経営目標・活動経営計画書、環境法規制等一覧表、環境活動レポート等の各種文書記録の確認 ・ 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 「環境関連法規等一覧表」の確認 ・ 「環境関連法規等一覧表」に基づく順守評価の実施 ・ 活動記録類の様式作成と記録承認
部門長	・ 自部門における環境経営システムの実施 ・ 自部門における環境経営方針の周知 ・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・ 自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
EA2 1 事務局	・ 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・ 「環境関連法規等一覧表」の作成 ・ 「環境関連法規等一覧表」に基づく順守評価表の作成 ・ 環境経営目標・環境経営活動計画書原案の作成と達成状況のまとめ ・ 環境経営活動の実績集計 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 特定された緊急事態への対応のため、テスト・訓練の原案作成と記録 ・ 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)

(14) 環境関係責任者及び担当者連絡先

責任者 常務取締役 香取 光

担当者 事務局 加藤 光洋

電話 043-273-1688(代)

FAX 043-275-0551

Eメール katoh@katori-1975.jp

2. 認証・登録の範囲

認証・登録番号	0012856
認証・登録年月日	2019年8月7日
認証・登録事業者名	株式会社 香取
対象事業所名	本社・工場、資材置き場・駐車場
所在地	千葉県千葉市花見川区幕張本郷6丁目24番19号
事業活動内容	建設建材製造・販売



3. 環境方針

環 境 経 営 方 針

基本理念

1976年5月建設資材の販売業を基盤として株式会社香取として設立し、1989月解体・土木工事業として(有)コウケンを設立し、ついで1990年3月に千葉市事業系一般廃棄物収集運搬業として(有)ファースト商事を設立、香取グループになり、同一ビル内で共同オフィス活動を行い、地域環境及び省資源等に配慮した事業運営に真摯に取り組んでまいりました。これからは更に地球温暖化防止等地球環境保全の重要性を認識するとともに、毎日の事業活動を通して、地域社会、地域環境保全に寄与するよう努めます。

活動基本方針

当社は基本理念のもと、関係法令を遵守し、次の事項を自主的、積極的に取り組むとともにE A 2 1環境経営システムを導入し、継続的な環境負荷低減への取組・改善に努めます。

- (1 事務所の全従業員に対して、E A 2 1環境経営システムの理解と定着化を図ります。
- (2 関連企業（協力業者）に対してE A 2 1環境経営システムについての啓蒙啓発を行います
- (3 事務所におけるエコオフィス活動は香取グループ3社が共同で推進します。
 - ① 事務所を適正に管理し、電気、水道等の使用量の節減に努めます。
 - ② 廃棄物の分別を徹底し、排出抑制と資源化に努めます。
 - ③ グリーン購入を積極的に推進するとともに、コピー用紙等の使用量を節減します。
 - ④ 使用車両のエコドライブに努めます。
 - ⑤ 事務所周辺の清掃を行います。
- (4) プラントで次の環境経営活動を実施します。
 - ① プラント・周辺の公害対策等に万全を期します。
 - ② プラントでの省エネ、節水を推進します。
 - ③ 車両（ミキサー車、ダンプ、重機）のエコドライブに努めます。
 - ④ プラントの整理・整頓・清掃に努めます。
- (5) 環境経営レポートは一般に公開します。

制定： 2009年3月16日

改訂： 2024年4月1日

株式会社 香取

代表取締役社長

香取寛

4. 環境負荷の実績

- (1) 負荷の実績は事務所とプラントを分けて把握しました。
- (2) 2024年度全社の環境負荷実績は表-1のとおりです。

表-1 《全社》

環境への負荷		量		CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	割合 (%)
エネルギー 使用量	電力 ※	105,431.33	kWh	46,495	7.2
	ガソリン	1,449.00	ℓ	3,362	0.5
	軽油	232,680.00	ℓ	600,314	92.3
	灯油		ℓ		
	A重油		ℓ		
	都市ガス		m ³		
	液化石油ガス (LPG)		k g		
	液化天然ガス (LNG)		k g		
	合計 (エネルギー)			650,171	100%
一般廃棄物総排出量		301.83	k g		
産業廃棄物総排出量			k g		
中間処理			k g		
うち再資源化量			k g		
最終処分 (埋立) 量			k g		
再資源化率			%		
使用 水量	上水		m ³		
	工業用水		m ³		
	地下水		m ³		
化学物質使用量					



(3) 2024年度の事務所及びプラントの環境負荷実績は表-2（事務所）、表-3（プラント）のとおりです。

表-2 《事務所》

環境への負荷		量		CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	割合 (%)
エネルギー 使用量	電力 ※1	2,408.33	kWh	1,062.08	24.0
	ガソリン	1,449.00	ℓ	3,361.68	76.0
	軽油		ℓ		
	灯油		ℓ		
	A重油		ℓ		
	都市ガス		m ³		
	液化石油ガス（LPG）		k g		
	液化天然ガス（LNG）		k g		
	合計（エネルギー）			4,423.76	100
一般廃棄物総排出量		301.83	k g		
産業廃棄物総排出量			k g		
中間処理			k g		
うち再資源化量			k g		
最終処分（埋立）量			k g		
再資源化率			%		
使用 水量	上水		m ³		
	工業用水		m ³		
	地下水		m ³		
化学物質使用量					

※1 購入電力の排出係数：2023年1月24日環境省発表「2022年度の電気事業者ごとの調整後排出係数（東京電力エナジーパートナー）」を使用(0.441kg-CO₂/kWh)

表-2 《プラント》

環境への負荷		量		CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	割合 (%)
エネルギー 使用量	電力 ※2	103,023.00	kWh	45,433.14	7.0
	ガソリン		ℓ		
	軽油	232,680.00	ℓ	600,314.40	93.0
	灯油		ℓ		
	A重油		ℓ		
	都市ガス		m ³		
	液化石油ガス（LPG）		k g		
	液化天然ガス（LNG）		k g		
	合計（エネルギー）			645,747.54	100
一般廃棄物総排出量			k g		
産業廃棄物総排出量			k g		
中間処理			k g		
うち再資源化量			k g		
最終処分（埋立）量			k g		
再資源化率			%		
使用 水量	上水		m ³		
	工業用水		m ³		
	地下水		m ³		
化学物質使用量					

※2購入電力の排出係数：2023年1月24日環境省発表「2022年度の電気事業者ごとの調整後排出係数（東京電力エナジーパートナー）」を使用(0.441kg-CO₂/kWh)

5. 今後の目標と計画（事務所及びプラントの中期目標）

中期目標の設定は事務所とプラント毎に設定しました。

《事務所》

事務所の基準年を2022年度とした今後3ヵ年の中期目標は次の通りです。

項 目	単位	基準年実績 2022年度	2023年度		2024年度		2025年度	
			目標値	増減率	目標値	増減率	目標値	増減率
二酸化炭素の削減	kg	3,805	3,767	削減率1.00%	3,762	削減率1.17%	3,743	削減率1.67%
全従業員への指導と定着	回	-	毎月実施	-	毎月実施	-	毎月実施	-
関連企業への啓蒙啓発	回	-	月1回以上	-	月1回以上	-	月1回以上	-
電力の節減	kWh	2,292	2,269	節減率1.0%	2,257	節減率1.5%	2,246	節減率2.0%
地下水の節減	ℓ	未把握	-	節水	-	節水	-	節水
事務所廃棄物の削減	kg	582	582	維持	582	維持	582	維持
グリーン購入の推進	品目	9	10	-	11	-	12	-
用紙の節約	枚	34,667	34,320	節減率1.0%	33,973	節減率2.0%	33,627	節減率3.0%
営業車ガソリンの節減	ℓ	1,204	1,192	節減率1.0%	1,192	節減率1.0%	1,186	節減率1.5%
営業車の燃費向上	km/ℓ	15.20	15.35	向上率1.0%	15.43	向上率1.5%	15.50	向上率2.0%
地域環境保全活動	回	-	月1回	-	月1回	-	月1回	-

《プラント 1》

プラントの基準年を2023年度とした今後3ヵ年のプラントの中期目標は次の通りです。

項 目	単位	基準年 2023年度 実績	2024年度		2025年度		2026年度	
			目標値	増減率	目標値	増減率	目標値	増減率
二酸化炭素の削減	kg	652,762	647,741	削減率0.8%	644,208	削減率1.3%	640,944	削減率1.8%
地下水の節減	-	節水の実施	節水の実施	節水	節水の実施	節水	節水の実施	節水
電力量の節減（高圧200V）	kWh	104,589	104,066	節減率.5%	103,543	節減率1.0%	103,020	節減率1.5%
電力の節減の/原単位 （高圧200V）※1	kWh/ 千円	0.105	0.105	節減率0.5%	0.104	節減率1.0%	0.104	節減率1.5%
軽油の節減（ミキサー車）	ℓ	157,096	155,525	節減率1.0%	154,740	節減率1.5%	153,954	節減率2.0%
ミキサー車の燃費向上	km/ℓ	2.91	2.92	向上率0.5%	2.93	向上率1.0%	2.95	向上率1.5%
ミキサー車軽油の節減の /原単位※2	ℓ/千円	0.158	0.157	節減率0.5%	0.157	節減率1.0%	0.156	節減率1.5%
軽油の節減（ダンプ）	ℓ	37,168	36,982	節減率.5%	36,796	節減率1.0%	36,610	節減率1.5%
ダンプの燃費向上	km/ℓ	5.04	5.06	向上率0.5%	5.09	向上率1.0%	5.11	向上率1.5%
軽油の節減（重機）	ℓ	40,867	40,663	節減率.5%	40,485	節減率1.0%	40,254	節減率1.5%
グリーン単機・整備の推進	-	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
プラント・周辺の公害防止の推進	-	苦情ゼロ	苦情ゼロ	推進	苦情ゼロ	推進	苦情ゼロ	推進
資材置き場・駐車場の管理の徹底	-	実施	管理の徹底	実施	管理の徹底	実施	管理の徹底	実施

※1：電力の原単位は生コン売上高（千円）当たりとします

※2：ミキサー車軽油の原単位は生コン売上高（千円）当たりとします

6. 主な環境経営目標とその実績

- (1) 環境経営目標の設定/環境目標は事務所とプラント毎に設定しました。
- (2) 2024年度の環境経営目標および実績等は次の通りです。

《事務所》

項 目	単位	2022年度 (基準年)	2024年度			取り組み状況等	次年度の取組
		基準値	目標値	実績値	目標値比		
二酸化炭素排出量の削減	kg	3,805	3,762	4,424	118%	エコ安全ドライブの定着も未達成になりました	継続
全従業員への指導と定着	回	1/月	1/月	1/月	-	月例会での啓もうを図っています	継続
関連企業への啓蒙啓発	回	1 以上 /月	1 以上 /月	1 以上 /月	達成	グループ全体でのEA21の意識向上を図っています	継続
電力（100V）の節減	kWh	2,292	2,257	2,408	107%	節電に努めましたが未達成となりました	継続
地下水の節減	定性	-	-	-	-	節水に努めています	継続
一般廃棄物の削減	kg	582	582	623	107%	分別の徹底で削減につなげています	継続
グリーン購入の促進	品目	9	11	9	-	優先してエコ商品を購入しています	継続
用紙の節約	枚	34,667	33,973	36,500	107%	両面コピーや裏紙活用を進めています	継続
営業車ガソリンの節減 (エコ安全ドライブの実施)	ℓ	1,204	1,192	1,449	122%	エコ安全ドライブが定着も未達成となりました	継続
営業車の燃費向上 (エコ安全ドライブの実施)	km/ℓ	15.20	15.43	14.01	91%	全員参加で燃費向上へエコ安全ドライブを推進します	継続
地域環境保全活動	回	1/月	1/月	1/月	-	こまめな事業所前道路の水撒きを実施しています	継続

《プラント》

項 目	単位	2023年度 (基準年)	2024年度			取り組み状況等	次年度の取組
		基準値	目標値	実績値	目標値比		
二酸化炭素の削減	kg	652,762	647,471	645,748	100%	増車もあり大幅な未達となりました	継続
地下水の節減	-	節水の実施	節水の実施	節水の実施	達成	ミキサー車・タンクカー 洗車時の節水をしています	継続
電力量の節減（高圧200V）	kWh	104,589	104,066	103,023	99%	プラントの適正運転を心がけています	継続
電力の節減 ／原単位（高圧200V）※1	kWh /千円	0.105	0.105	0.104	99%	プラントの適正運転を心がけて達成しました	継続
軽油の節減（ミキサー車）	ℓ	157,096	155,525	155,907	100%	生産量増で未達となりました	継続
ミキサー車の燃費向上	km/ℓ	2.91	2.92	2.91	100%	エコ安全運転を心がけて燃費向上につながりました	継続
ミキサー車軽油の節減 ／原単位※2	ℓ/千円	0.158	0.157	0.157	100%	エコ安全運転をこころがけています	継続
軽油の節減（ダンプ）	ℓ	37,168	36,982	36,408	98%	生産量増でもエコ安全運転をこころがけています	継続
ダンプの燃費向上	km/ℓ	5.04	5.06	5.10	101%	エコ安全運転を心がけ達成しました	継続
軽油の節減（重機）	ℓ	40,867	40,663	40,365	99%	エコドライブを徹底できました	継続
グリーン車検・整備の推進	-	実施	実施	実施	-	計画的に車検を実施しています	継続
プラント・周辺の 公害防止の推進	-	苦情ゼロ	苦情ゼロ	苦情ゼロ	達成	事業所前道路、周辺へ小まめな散水をしています	継続
資材置き場・駐車場の 管理の徹底	-	実施	管理の徹底	実施	-	5Sでの管理を徹底しています	継続

7. 2024年度の主な環境活動計画の内容

(1) 主な活動計画内容と取り組み結果の評価及び次年度の取り組み
《事務所》

環境目標項目	取 り 組 み	結果	評 価	次年度の 取り組み
二酸化炭素排出量の削減	①電力（100Vの節減を参照	○	エコ安全ドライブと節電意識向上に努めガソリン消費量の減となりました	継続
	②ガソリンの節減を参照	○		継続
全従業員への指導と定着	①朝礼	○	全員参加として朝礼・月例会などの活用を図っています	継続
	②月例会（エコ安全ドライブ）	○		継続
	③企画会議	○		継続
関連企業への啓蒙啓発	①月例会（エコ安全ドライブ）	○	月例会を活用し、グループ各社のエコ安全運転をお願いしています	継続
電力（100V）の節減	①冷房28℃以上、暖房20℃以下	○	コロナ禍ですが、全員参加で節電に努めています	継続
	②照明は必要箇所・必要時のみON	○		継続
	③パソコンの自動電源OFF	○		継続
	④コピーファックスの省エネモード設定	○		継続
地下水の節減	①洗い物の一括作業	○	節水意識が定着しつつあります	継続
	②「節水」の掲示	○		継続
	③節水コマの使用	○		継続
一般廃棄物の削減	①ゴミの分別（ビン・缶・ペットボトル・可燃ゴミ）	○	分別の徹底をしていますが、従業員への通い弁当を推奨しています	継続
	②古紙・段ボールのリサイクル	○		継続
	③通い弁当	△		継続
グリーン購入の促進	①グリーンマーク商品の優先購入	○	必要最小限の購入で購入時にはエコ商品購入をしています	継続
用紙の節減	①両面コピーの徹底	○	両面コピーやメモ紙の活用で節減につなげています	継続
	②電子化による紙使用量節減	○		継続
営業車ガソリンの節減（エコ安全ドライブの実施）	①効率的なコースの検討	○	エコ安全ドライブが定着しつつあります	継続
	②公共交通機関の活用	△		継続
営業車の燃費向上（エコ安全ドライブの実施）	①ふんわりアクセル	○	全員参加でエコ安全ドライブの浸透を図っています	継続
	②エンジン2000/分回転以下	○		継続
	③急発進、急停車の抑制	○		継続
	④タイヤ空気圧の定期点検の実施	○		継続
	⑤暖気運転をしない（冬季は特に注意）	○		継続
地域環境保全活動	①事業所周辺の清掃活動	○	小まめな散水をしています	継続

中期（3ヵ年）環境経営目標
(香取)

	目標項目	単位	基準年実績 2022年度	2023年度		2024年度		2025年度	
				目標値	増減率	目標値	増減率	目標値	増減率
事務所	二酸化炭素の削減	kg	3,805	3,767	削減率1.00%	3,762	削減率1.13%	3,743	削減率1.63%
	全従業員への指導と定着	回	-	毎月実施	-	毎月実施	-	毎月実施	-
	関連企業への啓蒙啓発（ファースト商事は除く）	回	-	月1回以上	-	月1回以上	-	月1回以上	-
	電力（100V）の節減	kWh	2,292	2,269	節減率1.0%	2,257	節減率1.5%	2,246	節減率2.0%
	地下水の節減	ℓ	未把握	-	節水	-	節水	-	節水
	一般廃棄物の削減	kg	582	582	維持	582	維持	582	維持
	グリーン購入の促進	品目	9	10	-	11	-	12	-
	用紙の節約	枚	34,667	34,320	節減率1.0%	33,973	節減率2.0%	33,627	節減率3.0%
	営業車ガソリンの節減	ℓ	1,204	1,192	節減率1.0%	1,192	節減率1.0%	1,186	節減率1.5%
	営業車の燃費向上	km/ℓ	15.20	15.35	向上率1.0%	15.43	向上率1.5%	15.50	向上率2.0%
	地域環境保全活動	回	-	月1回	-	月1回	-	月1回	-

《プラント》

環境目標項目	取 り 組 み	結果	評 価	次年度の取組み
二酸化炭素排出量の削減	①電力の節減、②軽油の節減	○	即電、エコ安全運転を推進しています	継続
地下水の節減	①プラント清掃用水の適正使用	○	節水を心がけています	継続
	②ミキサー車・ダンプ車洗車の適正管理	○		継続
	②周辺道路のこまめな散水	○		継続
電力量の節減（高圧200V）	①プラントの適正運転	○	生産量増もありましたが、プラントの節電意識の向上をはかっています	継続
	②試験室は使用時以外の電源off	○		継続
電力の節減の/原単位（高圧200V）※1	①ミキサーの適正運転	○	プラントの節電意識の向上で目標を達成しました	継続
	②不使用時の電源off	○		継続
軽油の節減（ミキサー車）	①急停車・急発進の抑制	○	生産量増の中、エコ安全ドライブ第一での業務推進をしています	継続
	②ふんわりアクセルの実施	○		継続
	③タイヤ空気圧の定期点検の実施	○		継続
	④アイドリングストップの実施	○		継続
	⑤車両整備の実施	○		継続
ミキサー車の燃費向上	①エコ安全ドライブの実施	○	エコ安全ドライブ第一です	継続
	②効率的な道順の選択	○		継続
ミキサー車軽油の節減の/原単位※2	①エコ安全ドライブの実施	○	エコ安全ドライブ第一です	継続
	②効率的な道順の選択	○		継続
軽油の節減（ダンプ）	①急停車・急発進の抑制	○	すべての運転者のエコ安全ドライブが定着しつつあります	継続
	②ふんわりアクセルの実施	○		継続
	③タイヤ空気圧の定期点検の実施	○		継続
	④アイドリングストップの実施	○		継続
	⑤車両整備の実施	○		継続
ダンプの燃費向上	①エコ安全ドライブの実施	○	エコ安全ドライブでの燃費向上につながっています	継続
	②効率的な道順の選択	○		継続
軽油の節減（重機）	①空ぶかしの抑制	○	エコ安全ドライブを心がけています	継続
	②降車時のエンジンオフの徹底	○		継続
グリーン車検・整備の推進	①車検・整備工場の選択	○	計画的な車検や整備をしています	継続
プラント・周辺の公害防止の推進	①低公害型重機の使用	○	プラントでの騒音公害やほこり防止に努めています	継続
	②セメント圧送時の適切作業	○		継続
	③散水の徹底	○		継続
	④ミキサー車の無駄な攪拌の防止	○		継続
	⑤現場及び近隣の清掃実施	○		継続
資材置き場・駐車場の管理の徹底	①整理整頓清掃の徹底	○	整理整頓清掃が第一です	継続
	②防犯灯の管理の徹底	○		継続
	③ほこり防止の散水の徹底	○		継続
	④近隣の清掃実施	○		継続



8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

①次の環境関連法規等の要求事項、遵守状況等を一覧表に取りまとめ確認・評価をした。

《事務所》

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）
特定家庭用機器再資源化法（家電リサイクル法）
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法）
使用済み自動車の再資源化等の関する法律（自動車リサイクル法）
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）
労働安全衛生法
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）
消防法
千葉県ディーゼル自動車から排出される粒子状物質の排出の抑制に関する条例
道路運送車両法
道路交通法

《プラント》

廃棄物処理法
特定家庭用機器再資源化法（家電リサイクル法）
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律（小型家電リサイクル法）
労働安全衛生法
騒音規制法
振動規制法
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（オフロード法）
使用済み自動車の再資源化等の関する法律（自動車リサイクル法）
国等による環境物品等の調達を推進等に関する法律（グリーン購入法）
道路運送車両法
道路交通法
自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量削減等に関する特別措置法（自動車NOx・PM法）
千葉県ディーゼル自動車から排出される粒子状物質の排出の抑制に関する条例

②環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

2025年4月1日に遵守状況を確認しましたが、違反・逸脱はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘及び訴訟等は、過去3年間ありません

9. 環境活動の取り組み結果の総合評価

エコアクション21ガイドラインは事務所部門、プラント部門は、ともに2017年版ガイドラインでの運用です

中期環境経営目標は事務所部門は基準年度を2022年度とし、2023年度、2024年度、2025年度での運用で、プラント部門は新たに基準年度を2023年度とし、2024年度、2025年度、2026年度の新3ヶ年計画の基、運用が開始しています

二酸化炭素排出量の削減は達成されましたが、軽油の使用量は未達となっていますので、エコ安全ドライブの更なる徹底につとめましょう

今後審査は、遅れることがないように期限内に審査を受けられる様にして下さい

生産量の増加があっても、エコ活動を活用して二酸化炭素の排出量、燃料の使用量の削減につとめましょう

プラントの適正運転を実施し、電力使用量の節減を達成できました、今後も継続しましょう